

# 島根県における 医師養成の取り組み

平成29年8月9日

島根県健康福祉部  
医療政策課医師確保対策室  
室長 児玉信広



# 島根県って？



## <島根県の統計>

指 標	島根県
人口(万人)	69(46位)
面積(km <sup>2</sup> )	6,708(19位)
森林面積(%)	77.5(4位)
高齢化率(%) ※65歳以上	32.5(3位)
合計特殊出生率	1.75(2位)
医師数 (人/10万人)	279(13位)

(出典) 総務省「統計でみる都道府県のすがた2017」  
人口動態統計2016(速報値)  
H26医師・歯科医師・薬剤師調査

### 【アクセス】

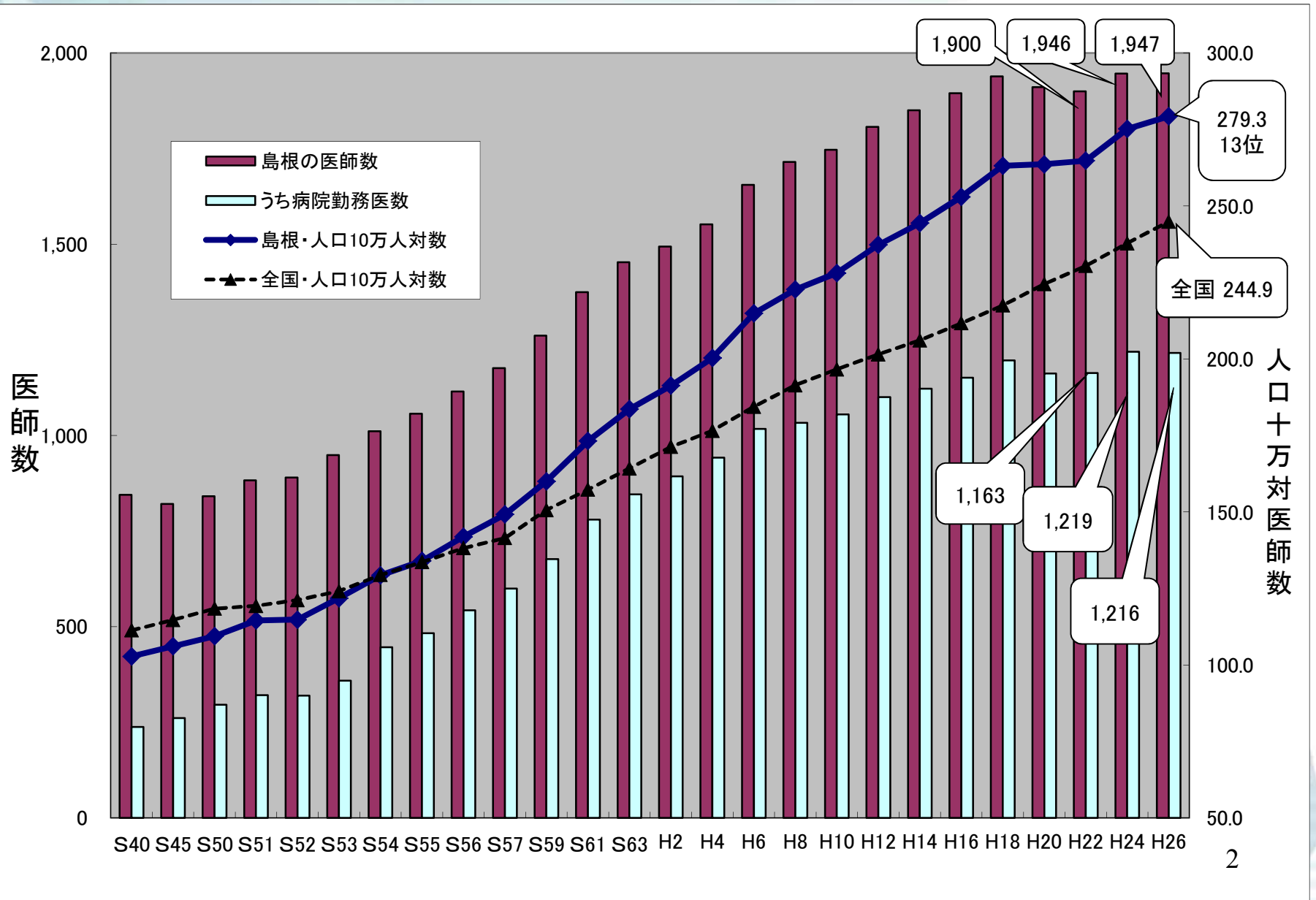
#### ○航空機

- ・出雲空港～羽田空港 1h20m
- ・出雲空港～小牧空港 1h
- ・出雲空港～伊丹空港 50m
- ・出雲空港～福岡空港 1h10m
- ・出雲空港～隠岐空港 30m
- ・石見空港～羽田空港 1h30m
- ・隠岐空港～伊丹空港 1h

#### ○鉄道

- ・松江～岡山(特急やくも) 2h35m
- ・松江～岡山～大阪(特急やくも～新幹線) 3h30m
- ・浜田～新山口(特急おき) 2h10m

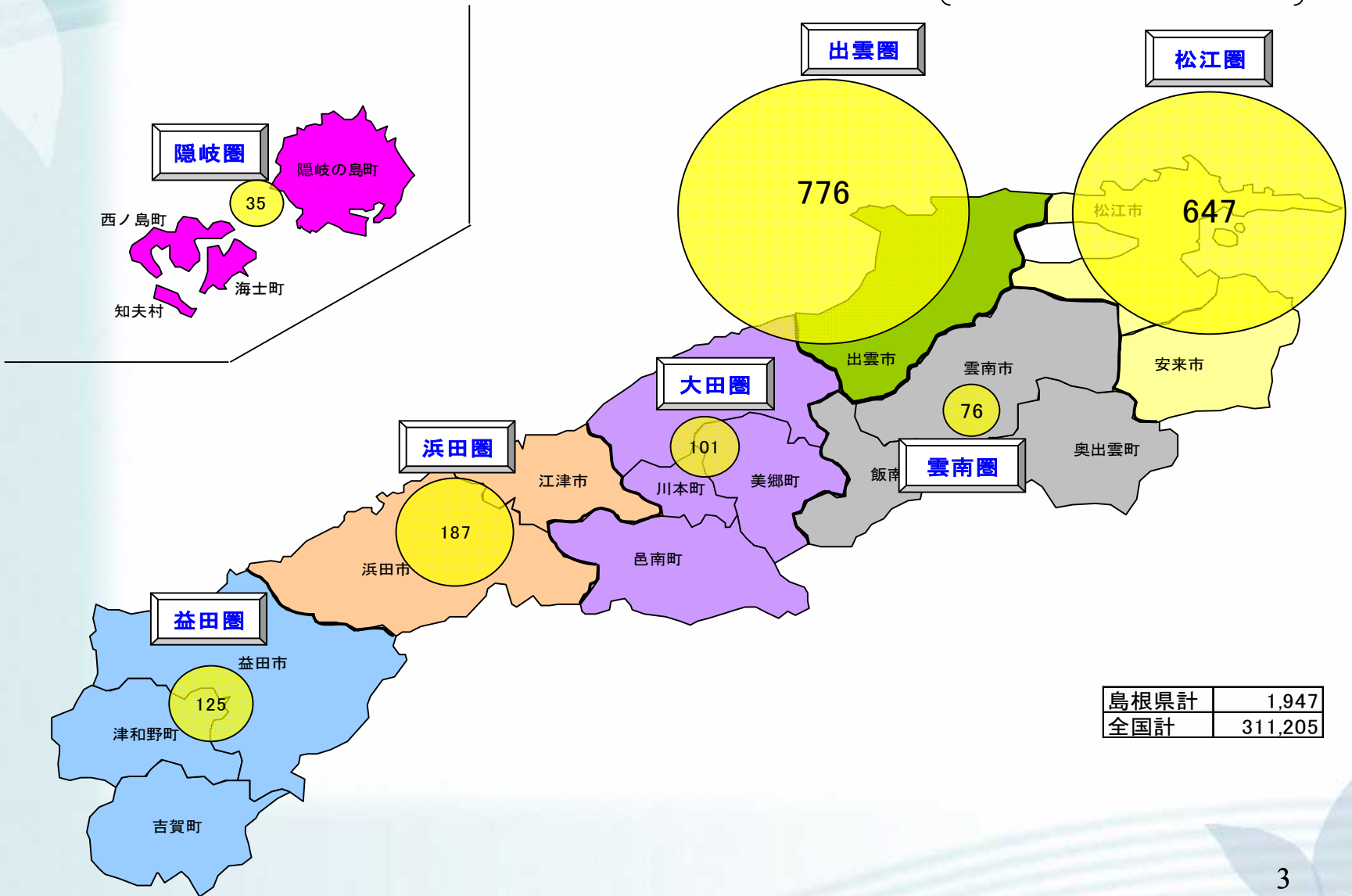
# 全国・島根県の医師数



# 島根県の医師数(人)

— 2次医療圏別 —

〔 医師数:平成26年12月31日現在  
(H26医師・歯科医師・薬剤師調査) 〕

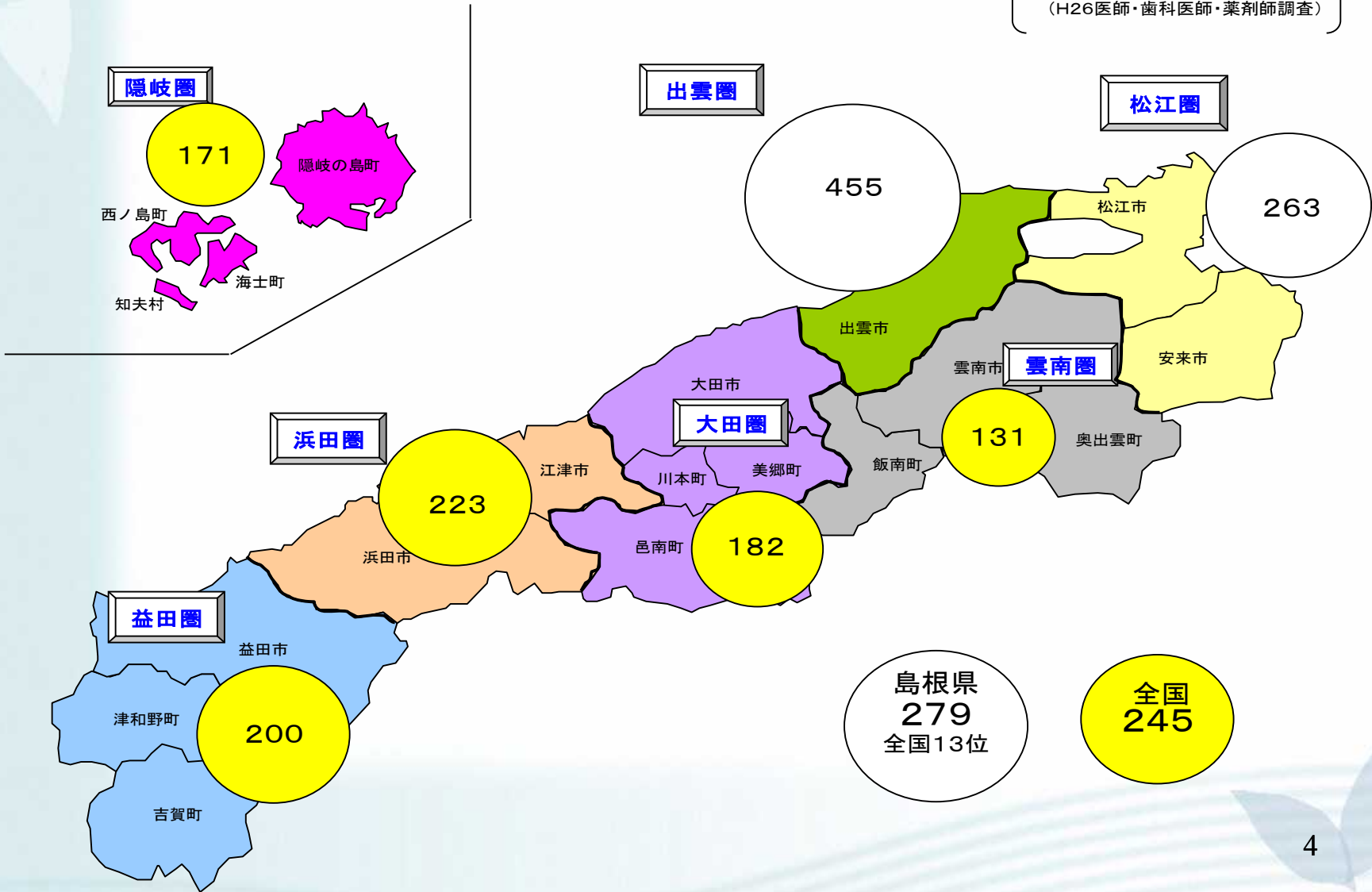


島根県計	1,947
全国計	311,205

# 島根県の医師の偏在(人口10万対医師数)

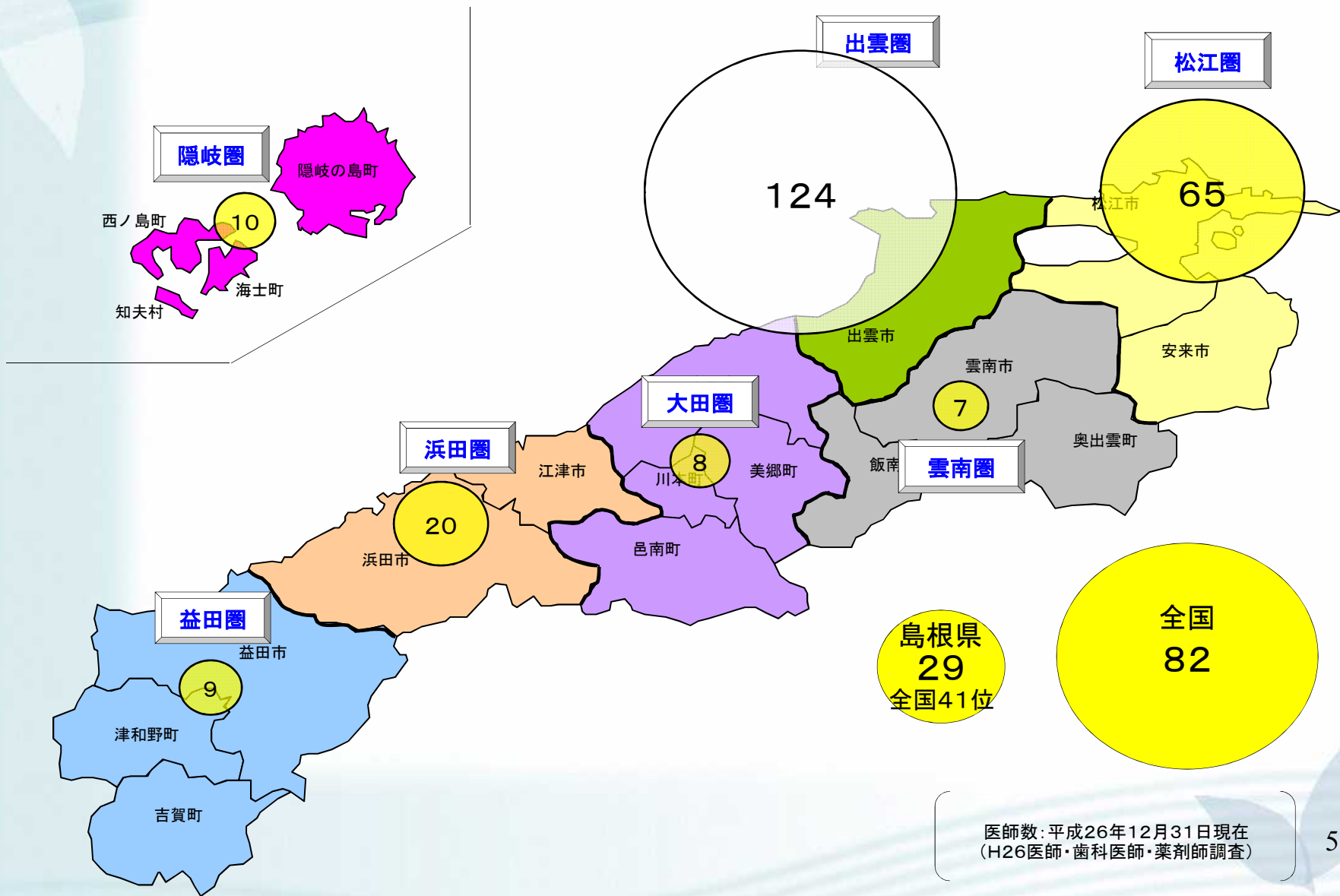
— 2次医療圏別 —

医師数:平成26年12月31日現在  
(H26医師・歯科医師・薬剤師調査)

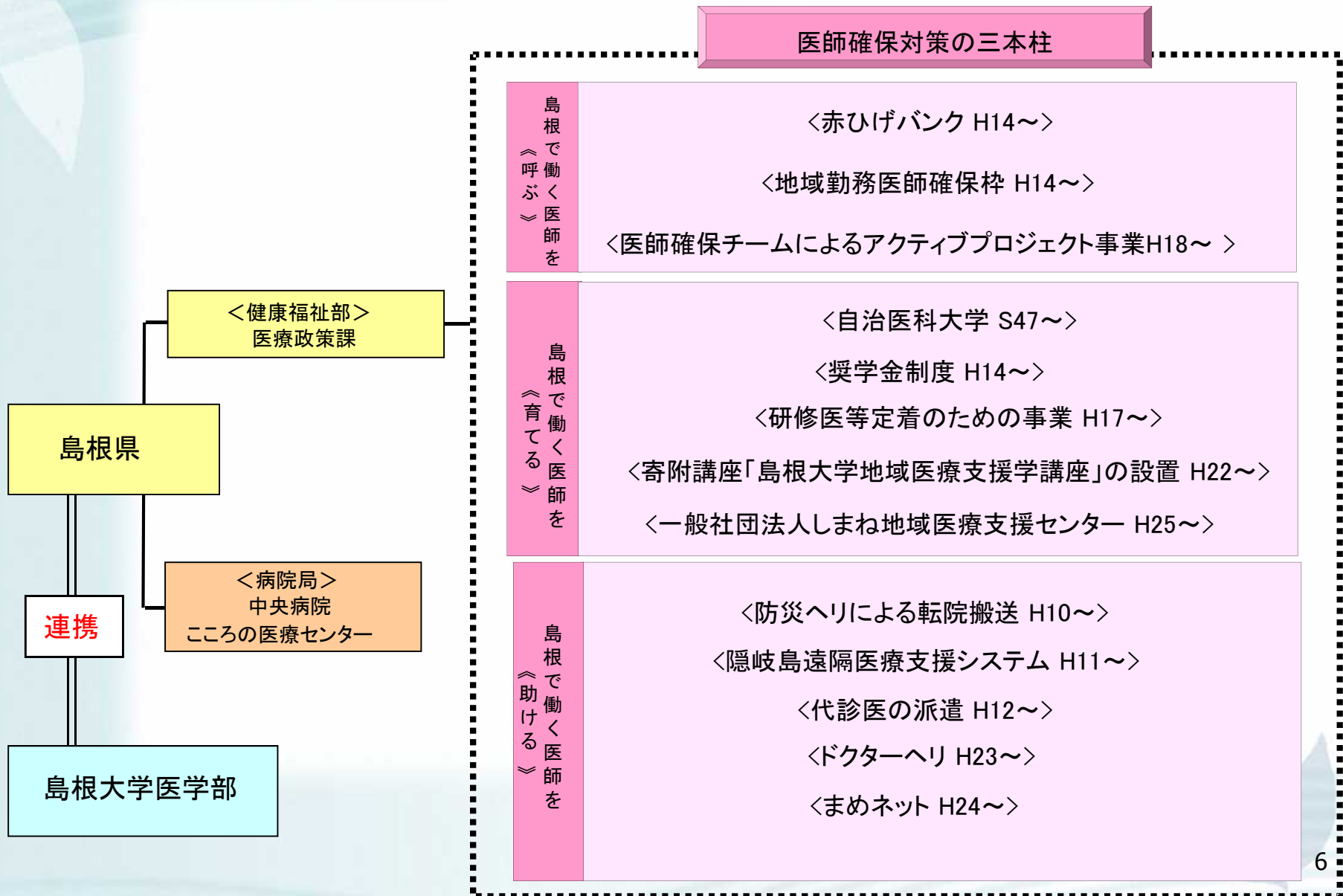


# 島根県の医師数密度(人/100km<sup>2</sup>)

— 2次医療圏別 —



# 島根県の医師確保対策事業の概要



# しまね地域医療支援センター設立の経緯

## 初期臨床研修制度導入後の主な取り組み

(※ 病院勤務医の不足・地域偏在の加速)

⇒ 島根大学「地域枠推薦入試制度」(H18～)

・奨学金制度の拡充(H18～)

⇒ 地域医療再生基金事業(H22～)

・島根大学医学部に寄付講座(地域医療支援学講座)設置

⇒ 地域医療支援センターの開設(H23～)

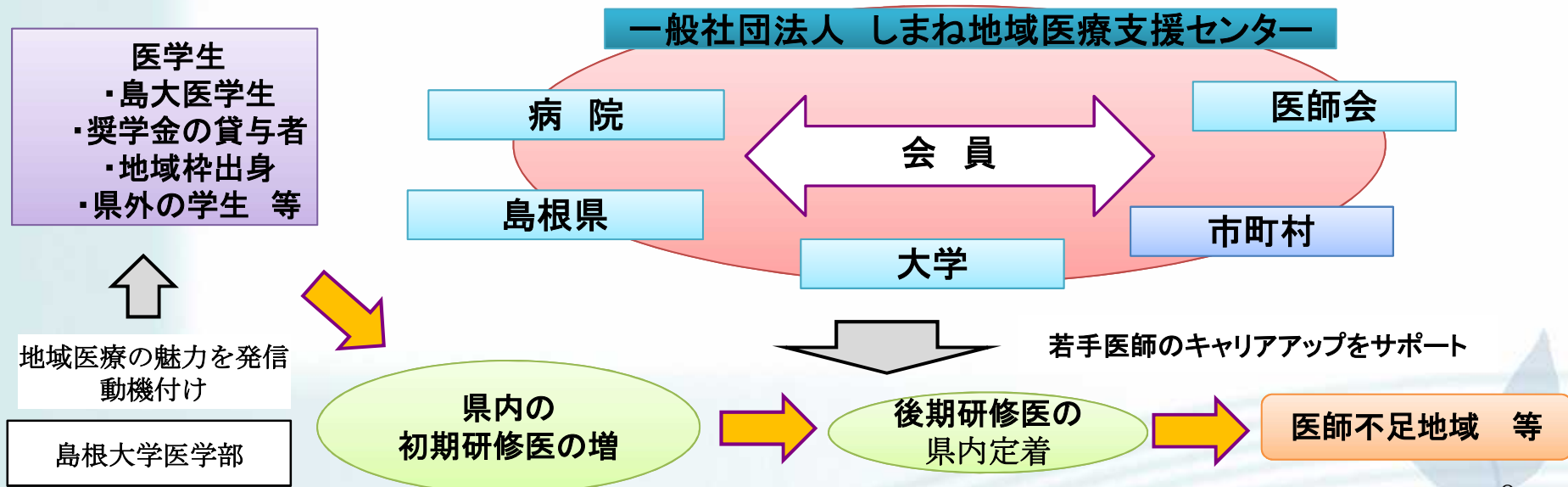
・島根大学医学部と島根県医療政策課内に開設

⇒ H25.3 一般社団法人として組織を一本化

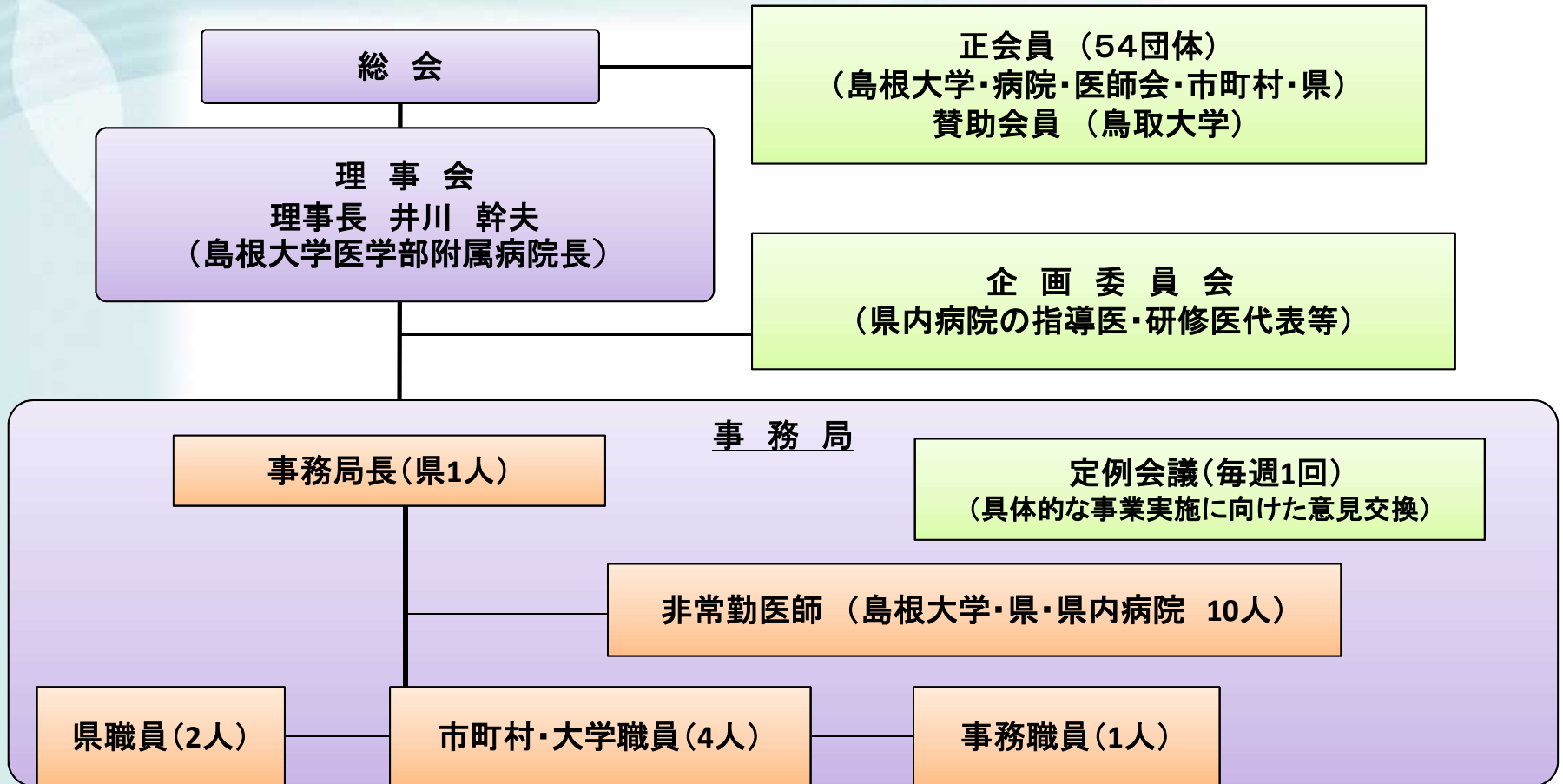


# 『一般社団法人 しまね地域医療支援センター』の概要

- 地域枠や奨学金の貸与を受けた医師が県内で安心して研修・勤務してもらえるよう“オールしまね”で若手医師のキャリア形成等を支援するために、H23年8月、島根大学と島根県に設置
- 若手医師の支援体制をより一層強化するため、一般社団法人として組織を一本化(H25.3月設立)
- 社団法人化することにより、
  - ・組織として、社会的な信用を得ることができ、
  - ・独立した団体として、より機動的、弾力的かつ継続した事業実施が可能となり、
  - ・関係する機関が組織の会員となり、より強固な連携体制のもと、それぞれの情報を共有し、知恵を出し合い「地域医療を担う医師の育成と確保」に取り組む



# 推進体制



## (総会等の役割)

- 総会 会員である大学、医療機関、医師会、市町村、県で構成する意思決定機関  
・事業報告及び決算、事業計画の承認
- 理事会 各圏域から1名程度の臨床研修病院院長等で構成し、重要な業務執行を決定
- 企画委員会 県内病院の指導医等に研修医代表を加えて構成し、事業の企画・立案
- 事務局 専任医師と県や市町村の事務職員を配置し、若手医師のキャリア形成支援等を担当

# 事業内容

## 1. 若手医師のキャリア形成支援

しまねを軸足にキャリアアップが図れるよう10年程度のキャリアプログラムの作成支援 ⇒ 支援対象者 155名(H29.4.1現在)

### ※ 研修・勤務先の調整

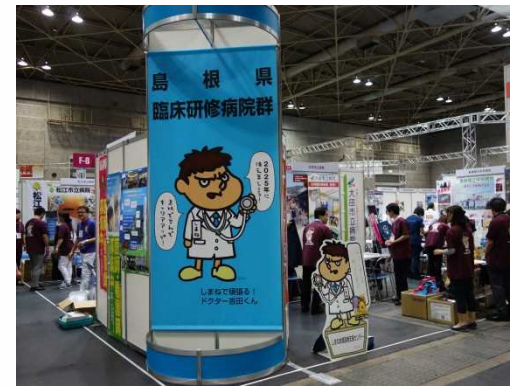
・本人の目標、希望 ・地域の医療情勢 ・奨学金の義務 等



初期研修医合同研修会

## 2. 地域の医療機関での研修体制の充実支援や研修機会の提供

- ・大学や地域の医療機関と連携した研修会の開催
- ・臨床研修、指導医研修の充実
- ・県内研修医のネットワーク構築 等



病院説明会

## 3. 大学・医療機関等の情報を発信し、県内外から研修医を確保

- ・県内外の病院説明会への参加
- ・県外医学生との交流会
- ・ホームページ、フェイスブック、支援センターマガジンの発行 等



マガジン

## 4. ワークライフバランスの推進

- ・働きやすい職場環境改善に向けて医療従事者支援担当者の人材育成
- ・出産・育児・介護などによる離職防止や復職支援 等

## 5. 医師不足状況の把握・分析

- ・地域医療に資する調査・分析 等

# しまね地域医療支援センター事業(平成29年度)

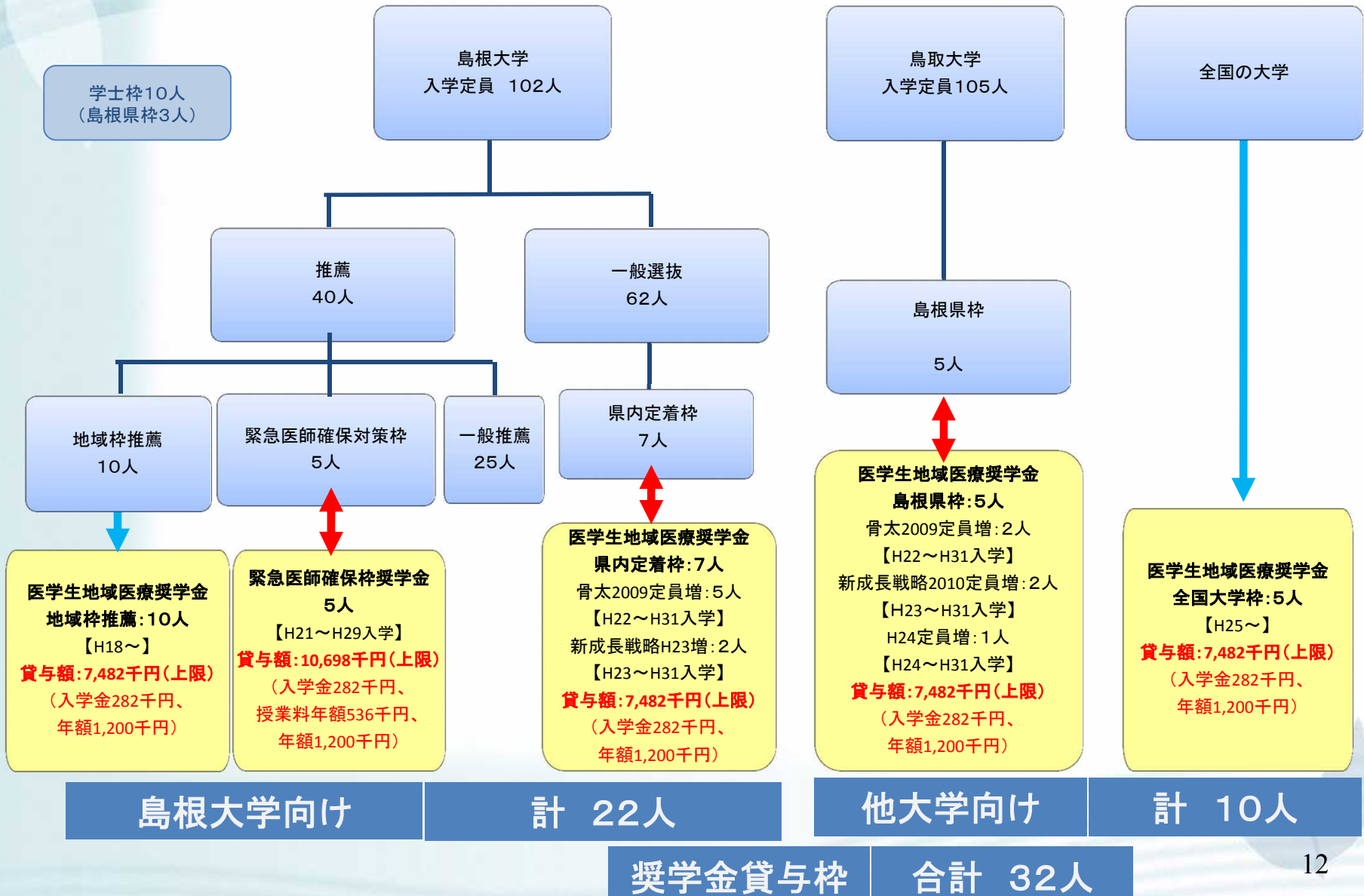
地域枠等医師のキャリア形成支援を通じて、医師の地域偏在の解消、地域医療の充実につなげる！！

		医学生	(初期研修医)	(後期研修医)	若手医師	指導医
キャリア支援	若手医師への手厚いサポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクションプランの実行 以下の面談・調整を通じて、地域での勤務を含めたキャリアプランの作成・実行を支援                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・登録医師とのキャリア面談(登録者155名)</li> <li>・会員との情報交換(出身地域の意向確認)</li> <li>・大学講座、所属病院との意見交換(医局等の意向確認)</li> </ul> </li> <li>・<b>地域枠医師の出身市町村、医療機関との連携強化[拡充]</b> 面談前後の情報交換、面談時の同行 など</li> </ul>				<p>【重点1】 個別のキャリア形成支援の強化</p>
研修充実	・しまねの魅力UP ・指導医のやる気UP	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修ネットワーク支援 総合診療専門医、精神科医、外科医、産婦人科医ネットワーク</li> <li>・臨床研修充実支援 初期合同研修会、臨床研修病院連絡会、評価試験、病院見学支援、若手医師提案事業助成 <b>研修医の主体的な取組の支援 [新規]</b> 初期2年次研修会 [新規] 市町村・病院職員向け研修会 [新規]</li> </ul>				<p>・指導体制向上に向けた取組支援 指導体制向上モデル事業、指導医講習会</p>
情報発信	・しまねの魅力をPR ・県外から医師を招く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院合同説明会(しまね研修ナビ等)</li> <li>・レジナビ出展、医学生・研修医合同交流会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域医療に配慮した新専門研修プログラムの作成支援、情報提供</li> <li>・<b>後期研修レジナビ出展[新規]</b></li> </ul>		<p>【重点2】 後期研修医を増やすための取組</p>	<p>【重点3】 地域の研修・指導体制の充実</p>
		<p>・情報発信 facebook、ホームページ、マガジン、キャラクター、グッズ等多様なメディアを活用したPR</p>				
WLB推進	働きやすい職場、復職しやすい環境 ↓ 魅力UP	<ul style="list-style-type: none"> <li>・復職支援相談窓口「えんネット」の充実 H26年度に設置した復職支援相談窓口を更に充実させ、県内のWLB相談支援の取組を加速</li> <li>・ワークライフバランス支援体制の充実 情報収集・情報発信、研修会、ネットワーク、託児等</li> </ul>				
機関連携	連携を強化し県外医師を招へい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携体制構築 (トップセミナー、圏域別情報交換会、島根大学病院各診療科並びに医学部関係講座等との連絡協議会ほか)</li> </ul>				
調査分析	現状分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域偏在解消に向けた現状把握・データ分析</li> <li>・初期研修医、後期研修医の動向調査</li> <li>・勤務医実態調査等施策立案の基礎資料</li> </ul>				

# 大学入学定員と奨学金制度の概要 (平成29年度)

↓  
奨学金の貸与は任意

↑  
奨学金の貸与が入学条件



# 奨学金の貸与状況(H29.4月末現在)

(単位：人)

区分	H29 定員枠	医学生							医師							
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	①	初期1	初期2	卒後 3年目	卒後 4年目	卒後 5年目	卒後 6年目	卒後 7年目 以上	②
計	32	20	32	22	31	32	38	175	29	19	26	16	12	14	20	136

## 【現行分】

医学生地域医療奨学金 (H18～)	27	15	27	17	25	25	27	136	22	19	17	13	10	8	11	100
島根大学地域枠 (H18～)	10	7	12	5	6	12	10	52	7	10	10	8	7	3		45
" 県内定着枠 (H23～) ※	7	7	8	9	6	6	5	41	6							6
鳥取大学島根県枠 (H22～) ※	5	1	3		4	4	3	15	1	2						3
全国大学枠その他 (H18～)	5		4	3	9	3	9	28	8	7	7	5	3	5	11	46
緊急医師確保対策枠奨学金 (H21～) ※ [島根大学]	5	5	5	5	6	6	8	35	7		3					10

(注) ※は国の医学部定員の暫定増によるものを示す。

## 【制度終了分】

へき地医療奨学金 (H14～17)																
しまね医学生特別奨学金 (H18～21)					1	3	4				6	3	2	6	9	26
特定診療科医師緊急養成奨学金 (H22～H25)																



# 医師のキャリア形成支援(卒後～)

**登 録**

地域枠・奨学金貸与者は学生時に全員登録

**『私のキャリアプラン』記入**

まず自身が考えるキャリア(勤務希望)を確認

**キャリア面談を実施**

面談を通じて希望等を確認

**関係者との調整**

必要に応じて大学や医療機関と調整

**キャリアプランの作成**

以上の調整を行い、キャリアプランを作成

**プラン実施をフォロー**

必要に応じて関係機関と調整

- ※ 毎年、年1回程度のキャリア面談を専任医師と一緒に実施
- ※ 毎年1月末『私のキャリアプラン』を提出し次年度意向や計画を確認

# 『私のキャリアプラン』 ⇒ 毎年提出

## 『私のキャリアプラン』

### 記載例

しまね地域医療支援センター理事長 様  
島根県知事様

1 賞与奨学金・研修支援資金名  
医学生地域医療奨学金

返還免除条件は、貸与期間等によって異なります。  
誤りがないか、県の返還猶予通知書等を参照し、  
ご確認ください。

2 返還免除条件

平成41年度末までに県内の指定医療機関で6年勤務  
(うち過疎地域に所在する特定地域医療機関で3年勤務)

年度	医療機関名	診療科	期間	キャリア目標等
H24年度	浜田医療センター	研修医	4月～3月	初期研修1年目
H25年度	島根大学附属病院	研修医	4月～3月	初期研修2年目
H26年度	同上	〇〇科	4月～3月	後期研修
H27年度	同上	〇〇科	4月～9月	後期研修 認定医取得
	浜田医療センター	〇〇科	10月～3月	後期研修
H28年度	島根大学附属病院	〇〇科	4月～3月	後期研修
H29年度	浜田医療センター	〇〇科	4月～3月	専門医取得
H30年度	同上	〇〇科	4月～3月	
H31年度	島根大学附属病院	〇〇科	4月～9月	
	県外大学附属病院	〇〇科	10月～3月	
H32年度	同上	〇〇科	4月～3月	
H33年度	浜田医療センター	〇〇科	4月～3月	
H 年度	↓ 奨学金の返還免除 に係る勤務終了		月～月	
H 年度				
H 年度				
H 年度				
H 年度				
H 年度				

H26年度以降の勤務計画(予定)を記載してください。  
これまでの経歴については、誤りがないかご確認ください。

黄色は指定医療機関、緑色は特定地域医療機関を表しています。  
ご自身の計画(予定)を記載する際には色づけする必要はありません。

平成〇年〇月〇日

氏名 〇〇〇〇

印

裏面につづく

### 3 キャリア形成における目標

- ・〇〇の専門診療能力の獲得のため、〇〇専門医取得を目指す。
- ・専門医取得に加え、総合的診療能力も習得したい。
- ・家庭医療に関するプログラムを終了後、サスペンシブリティとして〇〇専門医取得を目指す。
- ・臨床研究能力の向上を目指す。
- ・博士号の取得を目指す。

### 4 キャリア形成期間中(奨学金義務的勤務中)において、 考慮してもらいたいこと等

- ・私は地域枠出身であり、平成〇年度頃から出身地で勤務したい。
- ・妻の出身地である〇〇圏で勤務したい。
- ・出産のため、来年度いっぱい育休をとる予定。
- ・島根県以外の奨学金(〇〇奨学金)を受けている。

### ※このキャリアプランについて相談している指導医等

(相談しておられる場合は、記載してください。)

氏名 〇〇〇〇

所属 島根大学医学部附属病院〇〇科

可能な限り、大学の講座や病院の  
指導医等と相談して作成されるこ  
とをお勧めします。



# 地域枠医師等へのキャリア形成支援基本方針

## 1 全般事項

奨学金貸与者（研修資金含む）

[島大：地域枠 学土地域枠 緊急枠 県内定着枠 鳥大：島根県枠]

- ・奨学金返還免除に必要な県内勤務（へき地勤務も含む）は卒後 10 年程度のできるだけ早い時期に実施する。
- ・初期及び後期研修は島根県内のプログラムで行う。
- ・へき地勤務は、その時の医療状況を勘案し、必要な地域で行う。
- ・診療科の選択に際しては、県内で必要とされる診療科とする。

## 2 個別事項

### ①島大地域枠

- ・医学生地域医療奨学金を受給していない島大地域枠推薦医師は、同奨学金を受給した場合の返還免除に必要な勤務と同等な勤務をする。
- ・へき地勤務は出身地域（市町村）で行う。
- ・診療科の選択に際しては、出身地域で必要とされる診療科とする。

### ②島大学士地域枠

- ・奨学金を受給していない島大学士地域枠推薦医師は、医学生地域医療奨学金を受給した場合の返還免除の勤務と同等の期間の県内勤務をする。
- ・H23 年度～H26 年度入学者は、初期研修を島大プログラムで行う。

### ③鳥大島根県枠

- ・初期及び後期研修は、鳥取大学医学部附属病院のプログラムで行っても良い。

# キャリアプランの実効性を高める 3つの『アクションプラン』

## ①登録者キャリア面談

### ※H28年度実施状況

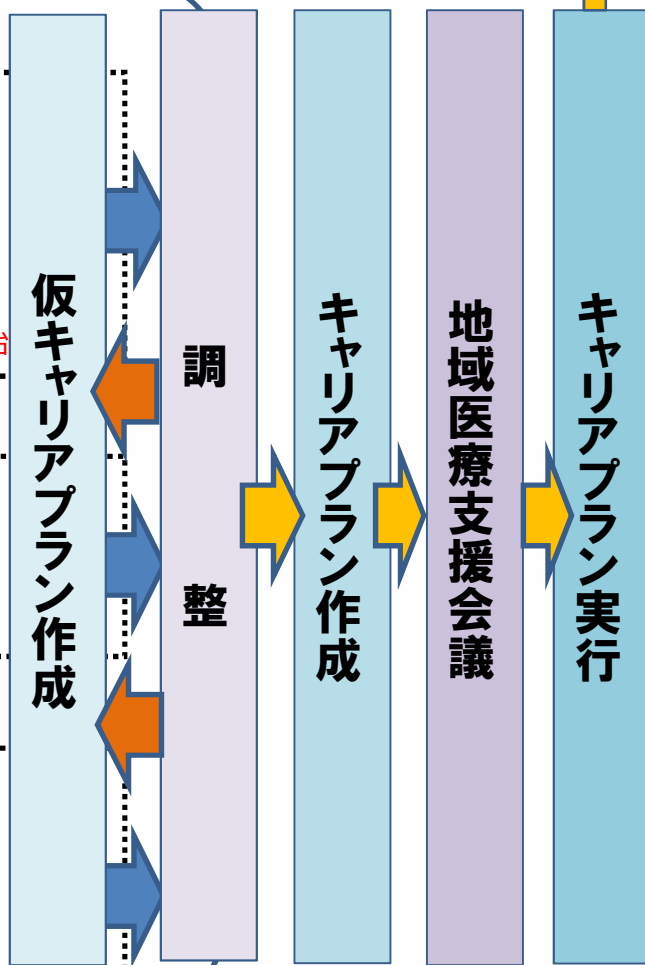
- 【面談対象者】 138名 (県内:105名 県外:33名) ※H27:127名 (県内:93名 県外:34名)  
 【面談実績】 107名 (県内: 86名 県外:21名) ※H27:115名 (県内:84名 県外:31名)
- ・本人から『私のキャリアプラン(勤務希望)』提出(毎年1月)
  - ・面談を通じ、義務の確認、地域の期待を伝え、キャリアと義務履行の両立を支援
  - ・島根大学6年生(32名)と、マッチング前と国試後の2回面談
- <成果> 初期2年目研修医 ~ 28名のうち24名が県内で後期研修開始  
 卒後3年目以降 ~ 県外勤務者25名のうち5名が県内に戻り勤務  
 6年生、既卒者 ~ 34名のうち22名が県内初期研修プログラムで研修開始

## ②会員情報交換

- 【圏域単位】 圏域別 市町村・医療機関・医師会情報交換会(7圏域 127名参加)  
 【個別訪問】 市町村・医療機関単位で個別訪問し意見交換(随時)
- ・登録者の面談状況等をフィードバック、意見交換
  - ・地域の意見、要望等を聴取
  - ・地域枠出身医師等の受入環境整備等要望

## ③大学講座・所属病院 意見交換

- 【大学全体】 島根大学医学部附属病院各診療科・関係講座との連絡協議会(毎月開催)  
 【個別訪問】 島根大学医学部各講座と意見交換(22講座:入局者61名の義務説明)  
鳥取大学医学部講座、鳥取県地域医療支援センターと意見交換  
(1講座:入局者2名の義務説明)
- ・キャリア形成支援方針、奨学金制度と義務年限、島大入試枠制度を説明
  - ・医局責任者へ登録者の義務を説明し、キャリアと義務履行の両立ができるよう依頼



### しまね地域医療支援センター 事務局

臨床研修病院連絡会

病院合同説明会

WLB推進

調査・分析

初期研修医合同研修会

トップセミナー

情報発信

# 医療状況の把握・分析

## ・島根県勤務医師実態調査 H18～

**目的：医師の地域や診療科の偏在をはじめ深刻化する医師不足の実態を把握することにより、今後の島根県における医師確保の対策の基礎資料を得る**

**対象：県内医療機関(51)、公的診療所(41)**

**調査時点：毎年10月1日現在**

**調査：常勤医師数、常勤換算医師数、診療科別必要数、  
常勤医師(診療科、年齢、卒業大学、取得専門医など)**

# 島根県勤務医師実態調査結果(常勤医数)

(単位:人)

	松江	雲南	出雲	大田	浜田	益田	隠岐	島根県
H18	317	48	434	53	105	86	27	1,070
H19	321	45	438	52	107	75	27	1,065
H20	317	38	444	52	108	72	25	1,056
H21	327	35	455	49	104	69	25	1,064
H22	328	34	461	43	104	74	24	1,068
H23	326	38	482	46	97	68	25	1,082
H24	324	39	489	45	104	70	26	1,097
H25	333	37	489	43	103	66	26	1,097
H26	334	35	495	52	98	70	26	1,110
H27	338	36	493	51	92	69	26	1,105
H28	339	37	501	52	91	67	25	1,112

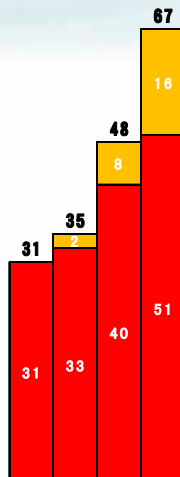
H18→H28	22	▲ 11	67	▲ 1	▲ 14	▲ 19	▲ 2	42
H18→H23	9	▲ 10	48	▲ 7	▲ 8	▲ 18	▲ 2	12
H23→H28	13	▲ 1	19	6	▲ 6	▲ 1	0	30

注1) 初期臨床研修医及び休職者(産前産後休暇を含む)を除いた人数。

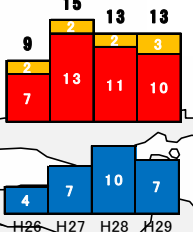
注2) 島根大学医学部附属病院は、H19年度以前の常勤医の範囲が異なり不明のため、H20年度の医師数に置き換え。

# 地域枠・奨学金貸与等医師の 研修・勤務先の推移

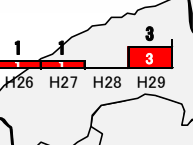
出雲圏域



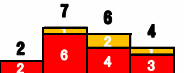
松江圏域



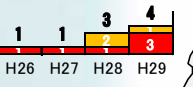
大田圏域



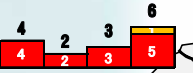
浜田圏域



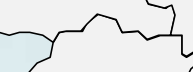
隠岐圏域



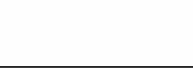
益田圏域



島根県



雲南圏域



## 概要

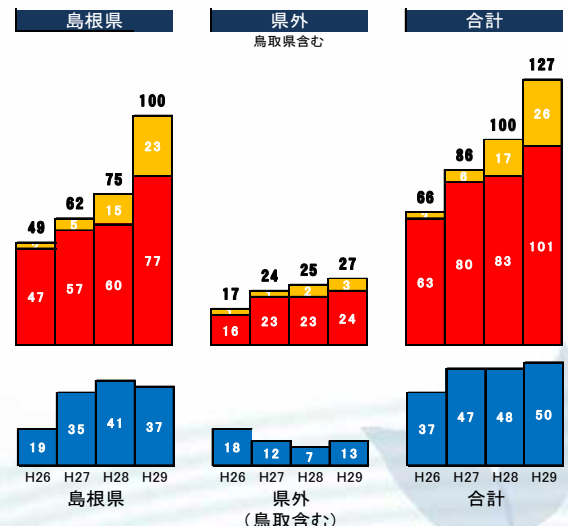
- 地域枠・奨学金貸与等医師数は年々増加
- 県内で初期研修、後期研修を行う医師数は増加
- 雲南・大田・益田・隠岐圏域で勤務する医師数は徐々に増加
- 県外で勤務する医師数は横ばい

〈H29年度の研修・勤務者の補足〉

- ・ 県外の初期研修医13名のうち、島根大の県外たすきプログラムは1名
- ・ 県外の卒業後3年目以上の医師24名のうち、島大入局者8名、島大入局者5名
- ・ H28年度に義務が終了した12名全員が引き続き県内勤務 (松江2名、出雲8名、浜田1名、益田1名)

義務終了者  
 卒業後3～10年目医師 (義務年以内)  
 初期研修医

H26→H27.1.1時点  
 H27→H28.1.1時点  
 H28→H29.1.1時点  
 H29→H29.4.1時点  
 ※奨学金返還者は除く



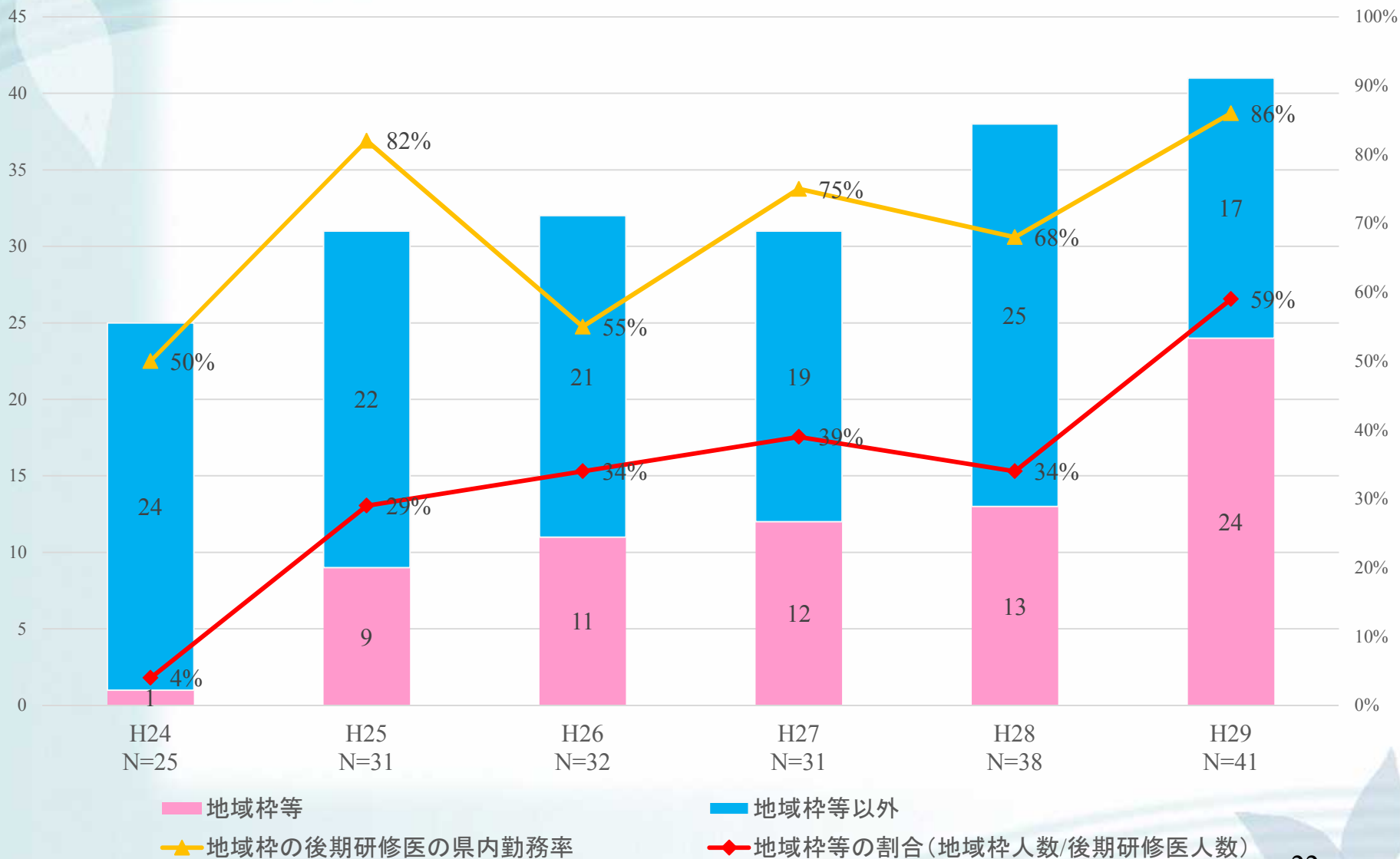
# 奨学金貸与医師の勤務先の状況





# 後期研修医数の推移

[県内で後期研修を始めた医師の数]



## 今後の方向性

- 若手医師が県内で専門医取得を含め、充実した研修を受けられる体制を構築する。
- 病院間での連携を強化し、お互いの役割分担などを検討しながら病院の機能分化を図る。
- 住民、自治体、大学、病院が協力して、地域医療を支える。



## 終わりに

- 医師確保等に関してわずかではあるが成果が上がりつつある。
- 県内の地域医療の充実に向けて、今後も関係者と連携して着実に医師の養成・確保の取組みを進めていく。



**SHIMANE  
AKAHIGE  
BANK**

**【島根県健康福祉部医療政策課 医師確保対策室】**

**TEL 0852-22-5251 FAX 0852-22-6040**

**<http://www.pref.shimane.lg.jp/iryotaisaku/>**

**[島根の医療]**